

海事科学に関する高度な研究テーマを追究する

基礎分野を理解し修得するには、相応の時間と努力が必要です。学部では基盤を固めた上で、先生や先輩の協力を得ながら4年次に卒業研究を行います。研究本来の醍醐味を実感し、自身の研究テーマを追究できるのは大学院博士課程前期課程からです。本学部では事実上、学部・研究科の6年間で基本とした教育体系を構築しており、修了後、数多くの企業から求められる人材を輩出しております。平成29年度から前期課程では、グローバル海洋理工学プログラム（横断型教育プログラム）も受けることができます。ここでは海事関連分野における理工学および社会科学の専門知識を複合的に身につける人材養成を行います。さらに各コースに英語提供科目群を設定し、履修要件に必要な科目の単位を英語で修得することができます。

大学院博士課程後期課程に進学すると、自分の力で計画を立て、自身の研究テーマを追究し、権威ある学術雑誌に英語で論文を発表するなど、高度な研究活動を行っていくことが可能です。



博士課程前期課程（標準2年／最短1年）

グローバル輸送科学コース

海洋安全システム科学コース

マリンエンジニアリングコース

グローバル海洋理工学プログラム

博士課程後期課程（標準3年／最短2年）

グローバル輸送科学コース

海洋安全システム科学コース

マリンエンジニアリングコース

■主な就職先

(エネルギー・材料)

神戸製鋼所 / 大日本印刷 /
日本海洋掘削 / 日立製作所 / 旭化成 /
住友化学 / 東レ

(倉庫・物流)

日鉄住金物流 / 三菱倉庫 /
マツダロジスティクス

(造船・輸送機械)

日立造船 / 川崎重工 /
ジャパンマリンユナイテッド / トヨタ自動車 /
デンソー / 本田技研工業 / スズキ / マツダ /
ダイハツディーゼル / ヤンマー / 全日本空輸

(一般電気・機械)

三菱重工 / クボタ / パナソニック /
ダイキン工業 / 新日鐵住金 /
住友電気工業 / オリパス / 京セラ /
小松製作所 / 新明和工業

(情報・通信)

西日本電信電話 (NTT西日本) /
共同通信社 / 富士通

(商社・卸・小売)

三井物産 / ニトリ

(官公庁・その他)

国土交通省 / 総務省 /
国立研究開発法人日本原子力研究開発
機構 / 海技大学校 / 日本海事協会

■在学生からのメッセージ



海洋ロジスティクス
科学領域

見崎 豪之 さん

海事科学分野で培われた多角的な視点で世界を切り拓く

新たな問題が次々と発生している現代社会においては、ひとつの分野だけに固執していると時代の流れから取り残されてしまいます。そうした中、海事科学研究科は、気象・海洋等の環境系をはじめ、機械・電気・造船等の工学系から経済・法学等の社会科学系に至るまで、海洋上での人間活動に関わる横断的な学術分野を展開し、社会の要請に応える実践的な人材育成の場となっています。本研究科で培った知識・見識に基づいた多角的な視点は、私の研究テーマである、洋上風力エネルギーの普及を目的とした数値シミュレーションを用いた風況調査手法の開発に取り組む上でも欠かすことはできません。みなさんも、実社会との繋がりが深く、また多様性のある海事科学研究科で新しい世界を切り拓いていきましょう！

乗船実習科

船長や機関長に必要な海技免許を取得できるコース

幅広い教養と高度な専門性を身に付けた上で、海上貿易を主とした国際海事社会への進出をめざす。6か月間の乗船実習科を設置。海事科学部グローバル輸送科学科航海マネジメントコース、マリンエンジニアリング学科機関マネジメントコースで三級海技士となるために必要な所定の単位を修得して卒業すれば、引き続き乗船実習科に進学することができます（この場合、入学科は不要）。

乗船実習科を修了すれば、三級海技士国家試験の受験資格を取得することが可能です。修了生は、世界中の海・陸で活躍しており、国際海事社会から高く評価されています。



独立行政法人海技教育機構提供